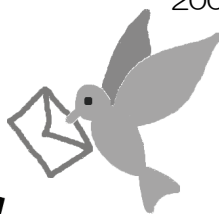


笑顔こぼれる みんなのミニ情報誌



9 月号

ほほえみ Hohoemi

ぽすと Post



再び大連へ

みなさん、こんにちは。本コラム6月号で報告した大連へ再び行ってきました。

前回の訪問は、ビジネス交流会の環境部門において、当社の紹介および今後の自動車リサイクルについて講演したのですが、これに興味を持たれた大連市環境保護局と市政府認定の自動車リサイクル業者より、「ぜひもう一度来てもらい、自動車リサイクルの話を知りたい」と要請を受けたのです。

「自動車リサイクル業者

大連の自動車リサイクルは、設備の関係でリサイクルは鉄・非鉄金属だけ、とまだまだ未熟であることがわかりました。また、中国では15年を超えた車両は廃車しなければならないのですが、まだ使えるものは改造してそのまま乗っているケースや、他地域に流れているケースなどがあるようです。

大連市で発生する廃車台数は年間約1万7千台。しかしながら認定業者に持ち込まれるのはたった3千台で、残りはヤミ業者に流れるか、改造され中古車のまま走っているかだそうです。

私は日本の現状や当社の環境を説明し、自動車リサイクル業が静脈産業として、メーカーである動脈産業との連携を深めていくことが、環境保全に繋がることを強調してきました。そのため、今年4月にIREC（国際リサ

イクル教育センター)を設立、自動車リサイクル技能士の資格制度化に向け、動いていることを説明しました。

大連市環境保護局
ここでは環境政策にかかわる大卒の



説明を受けた後、自動車リサイクルの話題になったところで、私は、フロン回収について（ここではまだフロンが回収されていない）、ひとつの提案をしました。フロンの温暖効果はCO2の1500～8500倍あります。そこで、CDM（クリーン開発メカニズム：環境省の委託を受け、地球環境センターが事業化を支援している）を利用して、ここにフロン回収工場を建設しようというものです。そうすると、大連市は資金負担なく工場の建設が可能となり、地球環境保護に一步進むことができる。日本はこのCDMを利用することで、温室効果ガスの削減目標達成に近づくことができるという、双方ともにメリットのある提案です。私はかなり具体性があると信じています。

車輛課からの お得な耳より情報



07年7月の車両処理実績

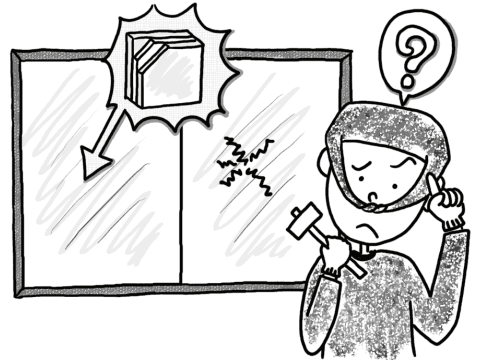
フロンガラス	破壊	Kg	330
	再利用	Kg	
エアバッグ	個		380
廃オイル	リットル		8,900
LLC	リットル		5,000
入庫台数	一般	台	1,162
	投棄	台	
処理台数	台		1,151
廃車ガラ量	トン		607

空き巣の侵入手段として一番多いのはガラス破りだそうです。しかし残念ながら、強化ガラスや網入りガラスでは防げません。窓防犯対策としておすすめなのは「防犯合わせガラス」です。2枚のガラスの間に樹脂製の中間膜を挟み込んだもので、ハンマーで叩くと、ヒビは入っても穴はあきません。また一般のサッシにおさまるので、簡単に既存のガラスと交換できるでしょう。さらに、「防犯合わせガラス」を内窓として追加する方法もあります。防犯性に加え、断熱性や防音性も向上します。

窓の防犯対策！

センサーライト、雨戸、面格子、補助錠などを窓に付けると、心理的に「入りにくそうだ」と思わせる効果があります。ご自分で防犯フィルムを貼るのも一つですが、気泡が入らないように丁寧に貼ってくださいね。

防犯合わせガラスの勝ち！



今月のクレーム

マフラー



みなさん、こんにちは。大森です。部品のお問い合わせの多くにマフラーがあります。マフラーといっても自動車の場合フロントマフラー（エキゾーストパイプ）、センターマフラー、リアマフラーと大きく分けて3つに分類されます。注文の多いのはリアマフラーなのですが、純正マフラーはどうしても錆が出やすく、マフラーを損傷する原因のほとんどが錆です。先日はこのリアマフラーの錆の状態がひどく、お客様にご迷惑をおかけしてしまいました。

他社在庫の場合、部品の状態は写真で判断しているのですが、常に細心の注意を心がけていきます。

会宝産業では社外新品のマフラーも取り扱っていますので一度お問い合わせくださいませ。

またマフラーを長持ちさせる方法として、排気ガス中に含まれる水蒸気が冷えたマフラーに当たり結露して内部にたまるため、短い距離をちょこちょこ乗るのを避けると、マフラーにも環境にもやさしいのです。

会宝産業株式会社 金沢市東蚊爪町1-25

部品課TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

E-mail kokunai@kaiho.co.jp

車両課TEL 076-237-5133

FAX 076-237-1950

E-mail info@kaiho.co.jp

営業時間/8:30-18:30 日・祝日休業



いきいき趣味らいふ

趣味として「口笛」を習う人が増えているようです。実は、毎年国際大会が開かれるほど奥が深く、愛好者の多い口笛。上達すると澄んだ清らかな音が出て、自分の声では出せない高音も出せるようになるとか。ちょっと練習してみましょう。

まず、口を「う」の形にして少し唇を突き出し、ゆっくりと息を吐きます。舌の先端は、下の前歯の後ろに軽くつくぐらいのところ。初めはかすれた音でも、一度いい音が出るようになってコツがつかめます。リキむと音が出にくくなるのでリラックスして！

いつでも どこでも
気軽に口笛♪



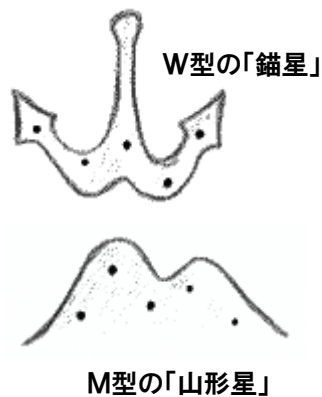
音程は舌の位置で変えます。舌全体を下げると低い音が、上げていくと高い音が出ます。音を変えるときは一瞬、吹くのを止めて次の音を出す準備をしてから吹きます。これで1つ1つの音のはっきり聞こえるようになります。

1オクターブほど出せるようになれば曲にチャレンジ。「チューリップ」や「キラキラ星」などの簡単な曲から始めてみましょう。慣れてくると息を吸いながら音を出せるので、息継ぎなしで吹き続けられます。また、舌を細かく動かすことでビブラートをかけることもできますよ。

季節の星ぼし

★W or M? ～カシオペア座～

「鍵星」、M型はピクトプラクダのしゃがんでいる姿として「ラクダ星」と呼ぶそうです。星座絵では、ギリシヤ神話に出てくるカシオペア王妃が座っている姿をかたどったものとされています。同じ星を見ても、時代や場所によって思い浮かべるものが違うんですね。さて、あなたには何に見えますか？



一番お得な発送方法はどれ？

節約玉手箱



荷物を送るとき、宅配便とゆうパックで悩むことはありませんか。あるいは、もっとお得な発送方法があるかもしれません。そんなときに利用したいのがインターネットの「送料の虎」。荷物的大小、重さ、送る場所によって、各種サービスの送料を無料で比較できます。たとえばA4サイズで厚さ2cm、1kgまでの荷物を東京から大阪に送る場合。宅配便は840円、ゆうパックは800円、定形外郵便は580円、クロネコメール便は160円と料金比較が一目瞭然。オークション利用者にはとても便利です。また、引越しの見積もりや国際宅配便などの料金も調べられますよ。

送料の虎(パソコン用) <http://www.shipping.jp/>

送料の小虎(ケータイ用) <http://www.shipping.jp/m/>

万能選手の“お酢”でいきいき！

お酢の“すっぱさ”は味覚や嗅覚を刺激するので、夏バテによる食欲不振を回復します。その上うれしいことに、お酢にはダイエット効果もあります。お酢に含まれる豊富なアミノ酸は余分な脂肪を燃焼させます。お酢を醸造・発酵させた「黒酢」には食酢の10倍ものアミノ酸が含まれるので、よりダイエット効果が期待できますね。ちなみに、ダイエットのためにお酢を飲むなら食後がいいそうです。食前だと食欲を刺激されて食べすぎてしまうかもしれないからです。

このほかにも、お酢は疲労物質を燃焼させ、血液をサラサラにして、肩や腰のコリを解消してくれます。

また、利尿作用によるむくみの解消、肌の老化予防、免疫力の強化、ストレスの抑制、自律神経の安定など、お酢の効用は数多くあります。

残暑が続くこの時期はお酢のパワーで元気回復。お酢が苦手な人は飲みやすいりんご酢などを試してみたり、お料理にワインビネガーを使ってみたりするといいですよ。



こんなとき ぞーする!?

年中行事から

冠婚葬祭まで

～ お月見を2回するって本当ですか？～

むかしの中国では、旧暦の7月を初秋、8月を中秋、9月を晩秋といい、各月の満月の夜に月見の宴を開いたそうです。なかでも中秋の8月15日の夜は、一年で最も美しい満月が見られるので、「十五夜」「中秋の名月」と呼ばれていました。

日本では、平安時代の貴族が月を見ながら即興で和歌を詠んだのがお月見の始まりだと言われ、江戸時代になると庶民の間にも定着したそうです。その頃、里芋など季節の農作物を供えたことから「芋名月」とも呼ばれました。現在のお月見は、月が出てくる方角に三方などを置き、月見団子、お神酒、野菜の供え物、ススキなどの秋の七草を飾りますね。

十五夜にはまん丸な月を見るのが楽しみですが、実は満月ではないこともあります。旧暦では新月を1日として15日頃が満月に近くなるので、年によっては満月と十五夜がずれてしまうのです。

ところで、“お月見”は年に2回あります。1回は中国から伝来した十五夜、もう1回は日本独自の「十三夜」という風習です。旧暦9月13日頃の月を「十三夜」といい、ちょうど食べ頃の栗や枝豆を供えるので、「名残りの月」「栗名月」「豆名月」とも呼ばれます。むかしの日本では十五夜と十三夜の両方にお月見をするのが習わしで、片方だけは“片見月”といって縁起が悪いとされました。

さて、今年の十五夜は9月25日、満月は9月27日、十三夜は10月23日です。晴れるといいですね。

